

課題解決型高度医療人材養成プログラム 選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント

〔 取組 1 〕 医師・歯科医師を対象とした事業
 (2) 特に高度な知識・技能が必要とされる分野の医師養成
 難治性疾患診断・治療領域 (臨床病理を含む)

整理番号

7

| | |
|---|-------------------------------------|
| 申請担当大学名 (連携大学名) | 金沢大学 (富山大学、福井大学、金沢医科大学) 計 4 大学 |
| 事業名 | 北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン |
| 事業責任者 | 医薬保健研究域長・医薬保健学域長 井関 尚一 |
| 事業の概要 | |
| <p>本プランは北陸の医科系 4 大学 (金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学) が地域医療機関、研究機関、自治体等と連携して実施する。本科コース (認知症チーム医療リーダー養成) を中心に、インテンシブ研修コース (地域認知症専門医師研修)、スペシャル研修コース (認知症・神経難病の臨床病理研修、地域フィールド認知症早期発見・予防・ケア研修など) 及びスーパーコース (認知症スーパープロフェッショナル養成のための卒前・卒後一貫教育) からなる。本科コースでは、高度の知識・技能を有する認知症チーム医療リーダー医師養成、研修コースでは、地域医療機関を活動拠点とする医師の認知症専門研修 (インテンシブ) と認知症・神経難病の臨床・病理研修や地域フィールド研修などの特色のある領域の短期研修 (スペシャル)、スーパーコースでは、卒前・卒後一貫教育により高度な研究力を有する認知症スーパープロフェッショナル医養成を行う。</p> | |
| <p>推進委員会からの主なコメント : 優れた点等、 : 充実を要する点等</p> | |
| <p>様々な学会で認知症専門医を設定しているが、大学教育の中での取り組みはまれであり評価できる。地域医療の医師やチーム医療リーダー育成なども地域包括ケアの観点で期待できる。</p> <p>大学ごとの教育内容に特色がある。</p> <p>認知症の専門家を養成することは重要である。</p> <p>申請担当校のミッションと一致している。</p> <p>高齢化社会において認知症専門医を育成することは急務であるが、既に「なかじまプロジェクト」として北陸においてモデル研究が始まっており、効果が期待できる。</p> <p>認知症に関する臨床研究の推進や、社会医学的な面でのプログラムはやや具体性に乏しいのではないかと。</p> <p>大学院コースにおける養成対象について、医師、看護師、その他の区別が不明な箇所がある。</p> <p>キャリア教育・キャリア形成支援の欄が空欄であるが、事業を展開する上で履修者のキャリアパス支援は非常に重要であることから、検討いただきたい。</p> <p>認知症専門医のみでなく、認知症を理解するメディカルの育成も必要と思われることから可能な範囲で検討いただきたい。</p> | |